

JGN イベント利用企画書

ICT and ART の融合

イベント名：地域公共ネットワーク利活用 ～ 保育園園児に“いかのおすし”遠隔双方向指導

< 目的 >

- ・ JGN2 と地域公共ネットワークの相互接続によって、遠隔地からの保育園児童への双方向指導を試みる。
- ・ 高精細動画の双方向実時間伝送実験の一環として、特に島嶼部の 18GHz 無線網（地域イントラ基盤整備促進事業で整備）との通信品質を評価する。

< 内容 >

- ・ DV over IP 伝送装置にて低遅延、臨場感通信を行う
- ・ NICT つくばリサーチセンターのスタジオから、瀬戸内海に浮かぶ島々の保育園園児に対して遠隔指導を行う。その他高知、長崎の児童に対しても行う。
- ・ “いかのおすし”は、子どもへの犯罪を未然に防ぐために実施されている活動であり、紙芝居とともに、歌とダンスにて実施する、子どもへの啓蒙活動である。

別紙(43)遠隔双方向指導図参照

[<http://kirakiland.web.infoseek.co.jp/page005.html> 参照]

< 出演者 >

- ・ 指導： kirakira メンバー（4 名）
- ・ サテライト 1：松山市立中島保育園（中島）約 100 名
- ・ サテライト 2：松山市立もものはな保育園（興居島）約 30~40 名
- ・ サテライト 3：高知県（高知工科大学）香美市立片地小学校 児童と片地保育園 園児 約 40~50 名
- ・ サテライト 4：長崎県（長崎市琴海活性化センター）中央幼稚園・中央保育園 園児 約 40~50 名

< 利用方法 >

JGN2 回線を、愛媛大学経由で松山市の地域公共ネットワークである“ブロードバンド松山”（ファイバー網及び 18GHz 無線網から構成）に接続し、サテライト会場 1，2 と結ぶ。サテライト会場 3 は、高知工科大学内に香美市立片地小学校児童及び片地保育園園児に来てもらう。サテライト会場 4 は、長崎大学経由で株式会社長崎ケーブルメディア網に接続し、長崎市琴海活性化センターに中央幼稚園及び中央保育園園児に来てもらう。

< イベント実施体制 >

- ・ 主催：松山市、エフエーシステムエンジニアリング株式会社（FASE）JGN 四国連絡協議会
- ・ 共催：株式会社愛媛 CATV、株式会社長崎ケーブルメディア、愛媛大学、高知工科大学、長崎大学、株式会社ヘルムス、エリアポータル株式会社
- ・ 後援：四国総合通信局
- ・ 協力：NICT

< イベントのスケジュール >

- 1) 開催予定日：6 月 20 日（水）中島 10：00～10：50 興居島 11：00～11：50
その後順次、高知 13：00～13：50、長崎 14：00～14：50

< その他 >

NHK の特番にて放送予定及び他民放局、新聞社より取材予定があります。

以上